

河越やすみち NEWS



高島創生会

Vol.
02

〒520-1833 滋賀県高島市マキノ町蛭口940
TEL/FAX 0740-27-0024 HP:http://kawagoshi-y.net

ごあいさつ

ご支援いただいている皆様のおかげで、1期目2年を過ぎ、折り返しを迎えさせていただいています。昨年、私の広報誌発行以降の1年を振り返りますと、マキノビックランドの改修や並木カフェメタセコイアのオープン、グランピング施設「STAGEX高島」の開業など、観光振興により地域を活性化する出来事や、令和の時代の幕開けとともに市役所本庁舎が竣工されました。

一方、西日本豪雨や大阪北部地震をはじめ、高島市におきましても相次ぐ台風の襲来など、多くの自然災害に見舞われた一年でもありました。被害を受けられた皆様そしてご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い再建をお祈りいたします。

私といたしましても、防災・減災への取り組みに尽力してまいりましたが、高島市のさらなる防災力向上のため取り組んでまいります。

高島市人口 50,257人(H29.2.1) 49,212人(H30.7.1) 48,449人(令和元年7月2日 現在)

平成31年度当初予算関連

平成31年度の一般会計当初予算は、総額279億5,000万円を計上し、本庁舎、支所庁舎の整備事業を計上した過去最大規模であった前年度と比較して15億8,800万円(▲5.4%)の減となります。

貴重な自主財源である「ふるさと納税」は5億円の収入を見込み、引き続き、若い世代の子育てを支援し、中学生までの医療費助成、妊婦健診に要する費用の全額助成、小中学校でのICT教育環境の整備を進めるなど、住みたい、住み続けたい高島市の実現に重点を置いた予算となっています。

主な内容

- ① マキノビックランド周辺リニューアル事業**
マキノビックランドおよびメタセコイア並木周辺一帯にかけての魅力的な景観・環境資源を活用した、施設再整備工事を行います。
- ② ICT教育機器整備事業(新学習指導要領を踏まえた教育用ICT環境の整備)**
新学習指導要領に対応できるICT環境の充実に向け、教育用タブレット型端末を市内の小中学校全校に整備するとともに、双方向で分かりやすい授業を進め、児童生徒の多様な考え方を引き出し、情報活用能力の向上を図ります。
- ③ 今津総合運動公園の拡張 今津スタジアムの大規模改修**
今津総合運動公園は、災害時の広域避難所や物資の集積拠点となっており、原子力災害における避難中継所(スクリーニングポイント)としても指定されていることから、防災機能を兼ね備えた多目的グラウンドとして拡張整備を平成30年度に引き続き行います。また、今津スタジアムでは、利用者の利便性と安全性の確保を図るため、大規模改修を行います。



平成31年4月22日にオープンした「並木カフェメタセコイア」

活動日記



令和元年6月6日
日本赤十字社マキノ支部奉仕団活動



令和元年7月12日
柴山昌彦文部科学大臣、大岡敏孝衆議院議員が台風被害を受けた海津地域を視察



マキノ町小荒路区が
独自で設置された防犯カメラ



令和元年5月23日
会派視察研修 海上自衛隊呉資料館



平成30年10月12日
日本赤十字社滋賀県支部男性役員
研修会に於いてマキノ支部活動報告



平成31年4月25日
稲田朋美衆議院議員を表敬訪問し
高島の諸課題を陳情



平成31年4月28日
滋賀県宇野球選手権大会開会式に出席
(選手に激励)



平成30年10月26日
産業建設常任委員会外視察研修
への参加の取り組みについて
講師・小出宗隆センター長



平成31年4月23日
石破茂衆議院議員を表敬訪問し
高島の諸課題を陳情

議会報告

市議会の議事録・質問の動画などは高島市WEB市議会へ

高島市WEB市議会

平成30年9月議会

H29決算を認定。9/4の台風21号により、海津地域をはじめ多数の建物や農業・水産業が被害。停電が7日間の長期に及んだ。

防災対策について

質問

崖崩れの可能性がある危険箇所等の把握はしているのか、また、西日本豪雨災害の教訓から児童生徒の通学路の危険箇所等への対策を今後のどのように対応するのか

答弁

平成30年6月26日時点で、市内の土砂災害警戒区域は、土砂災害危険箇所を上回る588箇所が指定されており、県のホームページで公表や高島市では総合防災マップに土砂災害危険箇所や警戒区域を明示し、市民への周知に努めるとともに、新たに土砂災害のおそれがある区域については、県に情報提供するなどの連携を強化し、これからも引き続き土砂災害危険箇所の把握と対策の推進に努めてまいります。

平成30年12月議会

12/21新たな環境センター候補地が朽木宮前坊に決定される

地域医療連携推進法人について

質問

医療面は地域医療連携推進法人で解決しても医療から介護の流れをシームレスに繋げるには介護事業者との連携が大切ではないか

答弁

今後この高島の地において強固な地域包括ケアシステムを構築していくためには、医療、介護、福祉の連携は必要不可欠であると認識しております。

高島市環境センターの焼却施設について

質問

燃やせるごみの処理について、災害等のリスクを考慮し、複数事業者と契約締結しておく必要性についての市の考え方は

答弁

平成30年3月より三重県の業者に委託をし、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条に基づく処理先の市町との事前協議が必要となりますが、グループ会社での対応が可能であると考えております。

平成31年3月議会

平成31年度当初予算を可決

児童虐待・障がい者虐待・高齢者虐待について

質問

関係機関(児童相談所・警察等)との連携について

答弁

「要保護児童対策地域協議会」を設置し、構成機関に大津・高島子ども家庭相談センター(児童相談所)や高島警察署に入っていたいただき、情報を共有しているところです。特に、子どもの安全を確保する必要があるものに関しては迅速に援助要請を行うなど、連携を図りながら対応を行っております。



令和元年6月定例会

琵琶湖周航の歌資料館に関する住民説明会の開催を求める請願が採択される。移転にかかる費用を計上した予算を可決した議会の説明責任、そして議会制民主主義、議員の果たす役割はどこにいったのか…

防犯対策について

質問

防犯カメラ・特殊詐欺撃退装置の設置補助金について

答弁

関心の高い自治会は、県警の貸付事業による貸出しを受けたり、自主的に設置もされているところであります。補助金に対する市の考え方としましては、みんなで創るまちづくり交付金を防犯カメラの設置にもご活用いただきたいと考えているものであります。各自治会ではそれぞれ抱えておられる課題が様々であるため、その地域にとって必要とされる取り組みに柔軟に活用いただけるよう、この一括交付金制度を設けたものでありますので、現状では、さらに個別の補助金制度を設けるといふ検討には至っていないところです。

高島市の農業振興について

質問

市の農福連携の取組について

答弁

これまで、滋賀県社会就労事業振興センターのマッチングにより、農家と障がい者就労支援施設が結びつき、農作業の一部を受委託している事例や、障害のある方が、ハローワークのトライアル雇用を経て、一般就労されているケースや、市内の障害者就労継続支援B型事業所に通所される方が、農業の就労支援プログラムを経て、農繁期の臨時的雇用で就かっているケースも聞き及んでおります。ご指摘のとおり、農福連携は、農業分野、福祉分野の双方が抱える課題の解決を図る有効な取り組みであるものと捉えており、現時点では、農福連携の仕組みは確立していませんが、今後、その推進体制なども含めて調査・研究して参りたいと考えております。

防災情報

内閣府:避難勧告等に関するガイドラインの改定~警戒レベルの運用等について~

■ 警戒レベル5 災害発生情報
既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする。

■ 警戒レベル4 避難勧告/避難指示(緊急)
・指定緊急避難場所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。
・災害が発生するおそれが極めて高い状況等で、指定緊急避難場所への立退き避難はかえって命に危険を及ぼしかねないと自ら判断する場合には、近隣の安全な場所への避難や建物内のより安全な部屋への移動等の緊急の避難をする。

■ 警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始
避難に時間のかかる高齢者等の要配慮者は立退き避難する。その他の人は立退き避難の準備をし、自発的に避難する。

■ 警戒レベル2 注意報
ハザードマップ等により災害リスク、避難場所や避難経路、避難のタイミング等の再確認、避難情報の把握手段の再確認・注意など、避難に備え自らの避難行動を確認する。

■ 警戒レベル1 警報級の可能性
防災気象情報等の最新情報に注意するなど、災害への心構えを高める。

● 高島市防災・消防サイト



平成30年9月4日
台風21号に伴うマキノ町海津地域の被害現場